

いのちの言の葉 2019

富山県教育委員会 令和元年度いのちの教育総合支援事業

いのちの先生「保健師」

「お母さんってスゴイ！
赤ちゃんには優しく」
舟橋村立舟橋小学校
令和2年1月28日実施

【授業の概要】

- ① いのちの先生の話
 - ・ 生まれたばかりの赤ちゃんの様子
 - ・ 出産直前のお母さんの様子
 - ・ 赤ちゃんへの接し方について
- ② 体験活動
 - ・ 妊婦体験
 - ・ 赤ちゃん人形を使った着替え等の体験
 - ・ 赤ちゃん人形を使った抱き方等の体験



（家族へ）

私を産んでくれてありがとう。命の授業をして、お母さんは大変だと思いました。3時間おきにおむつ交換や授乳をしなくてはいけないことを、私は授業をするまで知りませんでした。それなのに、逃げることなく、私のことを今まで育ててくれました。私は、妊婦体験をしてみても、重いのにはトイレをしたりお風呂に入ったりしないといけないので、お母さんは本当にすごいし、大変だと思いました。

私もいつか赤ちゃんを産むと思うけれど、その時は、お母さんみたいに赤ちゃんを大切にしたいです。ありがとう。



（家族へ）

私を産んでくれてありがとう。妊婦体験をした時、階段を上り下りすると、おなかが重くてびっくりしました。人形の赤ちゃんでも着替えをさせるのが大変でした。この体験で赤ちゃんのことを学ぶことができてよかったと思います。少し大人になって困ることがなくなったと感じました。

保健師さんにももらったアドバイスで、いとこのお世話をがんばろうと思います。私をここまで育ててくれて本当にありがとう。

（授業から感じたこと）

妊婦体験では、9か月でこんなに体が重くなるんだと思いました。お母さんはこんなに大変だったのに今まで大切に育ててくれて、すごいと思いました。

（授業から感じたこと）

赤ちゃんには、やさしく声をかけることを教わりました。自分がお母さんになったら、学んだことを生かして、やさしいお母さんになりたいです。